

ハンナの かばん

一般社団法人 劇団こーろ

原作/カレン・レビン
翻訳/石岡 史子(ポプラ社刊)
脚本/宮越 洋子 演出/菊池 准
美術/増田 寿子 照明/福井 邦夫
音楽/上田 亨 衣装/吉井 千和
効果/須川 由樹 舞台監督/小田 浩輔
協力/(特)ホロコースト教育資料センター
制作/岡崎 久美子



子ども劇場高学年部合同企画 2018年10月舞台鑑賞例会

10月6日 土 19:00 開演 ももち文化センター(ももちパレス)大ホール

10月7日 日 ①15:00 開演 ②18:30 開演 北九州芸術劇場 中劇場

10月8日 月祝 18:30 開演 筑紫野市文化会館大ホール

■開場はいずれも開演の30分前 ■上演時間/1時間30分

※小学生未満の入場はご遠慮下さい。

●会員/会員券発行 ●会員外/一般券3,000円 一般券の発行は数に限りがあります。

連絡先:(特)子ども劇場福岡県センターTEL.092-791-7210 県内子ども劇場の連絡先は裏面をご覧ください。

後援/北九州市・北九州市教育委員会・水巻町教育委員会・福岡市・福岡市教育委員会・(公財)福岡市文化芸術振興財団・糸島市教育委員会・古賀市教育委員会・新宮町教育委員会・太宰府市教育委員会・筑紫野市教育委員会・朝倉市教育委員会・筑前町教育委員会・小郡市・小郡市教育委員会・行橋市教育委員会・刈田町教育委員会・みやこ町教育委員会



ハンナのかばん



STORY

ホロコースト教育資料センターに集まる子どもたちは、ホロコースト・フォーラムの講演に呼ばれて発表の準備の真っ最中。春菜もそんなメンバーの一人だ。

兄の純太とともにみんなの前で発表の練習をするが、どうもうまいかない。そこへ史子先生が大きなスーツケースを転がしながらやって来た。アウシュビッツ博物館に依頼していたホロコーストの遺品が届いたのだ。小さな靴、セーター、毒ガスの缶…。その中でみんなが興味を抱いたのは布に包まれたかばんだった。

『ハンナ・ブレディ 625 1931年5月16日生まれ 孤児』

かばんの表面に大きく書かれたのはそれだけ。アウシュビッツ解放の1945年1月にはハンナは13歳だったはず。自分と同年代の子どもの遺品に衝撃を受ける春菜。

春菜と純太の二人は、そのかばんを開けた途端、不思議な体験をする。かばんの精ドットに「ハンナ」と呼ばれた春菜。純太の方はハンナのお兄ちゃんの名である「ジョージ」と呼ばれる。

かばんの精ドットに誘われて二人がたどり着いたのは、1938年のチェコスロバキア、ノブ・メストに暮らすユダヤ人一家ブレディだった。……

平和な時代に育った春菜と、純太と、ホロコーストの中を精一杯生きたハンナ、ジョージ。



点ひとつ=100人

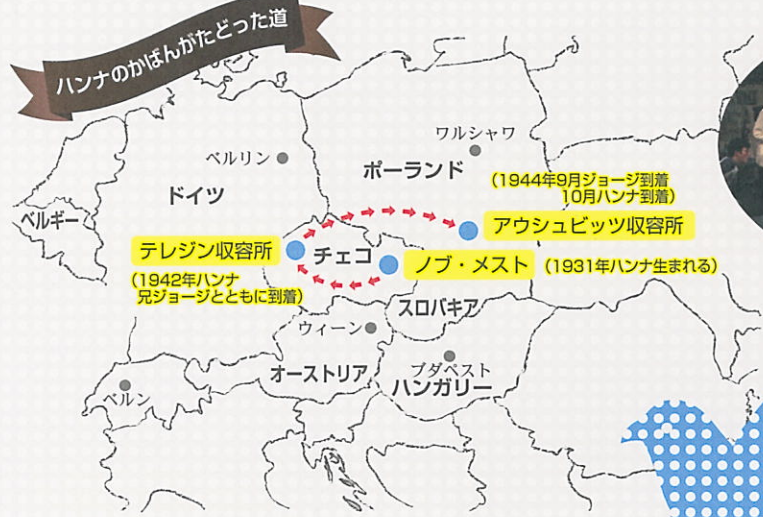
150万人の子どもたちが犠牲となりました。

ホロコーストは

第二次世界大戦時にヨーロッパでおきたユダヤ人虐殺を表す言葉として広く使われています。殺されたユダヤ人は600万に及び、そのうち150万が子どもでした。これは、20世紀、科学技術や医学が発達した近代国家のもと、計画的・組織的に行われた虐殺でした。他にも反体制者、身体障がい者、ロマ（ジプシー）らが犠牲になりました。

ユダヤ人は

約2千年前に国を追われ、ヨーロッパ各地で暮らし始めました。キリスト教が広まったヨーロッパで少数派のユダヤ教徒は宗教や習慣の違いから差別や暴力を受けることもありました。



「ハンナのかばん」スタディガイド】(特)ホロコースト教育資料センター刊より抜粋



ハンナ・ブレディ

1931年5月16日、チェコスロバキア（当時）のノブ・メストにユダヤ人の子として生まれる。父母は雑貨屋を営んでいた。1942年、兄とともにテレジン収容所に送られる。1944年10月、13歳でアウシュビッツに送られ、殺される。



兄ジョージ

ハンナの3歳年上。1944年9月、アウシュビッツで強制労働に送られる。1945年、「死の行進」でアウシュビッツから移動させられる途中で仲間とともに逃げだし、家族でただ一人生きのびる。1951年よりカナダ在住。

写真提供：ブレディ家

メッセージ

このかばんを通して、一人の少女の「死」よりも「命」を伝えたい……そんな思いから私はハンナ探しを始めました。そして一つのかばんから数々の不思議な、かけがえのない出会いが生まれました。劇団コーロのみなさんとの出会いにも今、期待に胸をふくらませています。ハンナの物語がまた新しい形で伝えられ、私たち一人ひとりが命を尊ぶ心、思いやりの心を育てていくことでしょう。



NPO 法人ホロコースト教育資料センター代表 石岡 史子

県内19の子ども劇場	(特)北九州子ども劇場	☎093-884-3834	糸島子ども劇場	☎092-324-6955	(特)ちくしの子ども劇場	☎092-925-5630
	行橋みやこ子ども劇場	☎0930-23-4003	(特)むなかた子ども劇場	☎0940-62-5344	甘木朝倉子ども劇場	☎0946-22-8070
	(特)こどもと文化のひろば		(特)福岡屋崎子ども劇場	☎0940-52-0802	小郡子ども劇場	☎0942-73-1631
	わいわいキッズいづか	☎0948-28-7319	(特)古賀新宮子ども劇場	☎092-944-1936	久留米子ども劇場	☎0942-65-6312
	福岡東部子ども劇場	☎092-661-3304	福岡みらい子ども劇場	☎050-3488-2559	大牟田子ども劇場	☎0944-54-7799
	福岡西部子ども劇場	☎092-841-4722	那珂川子ども劇場	☎092-952-9481		
	福岡まんなか子ども劇場	☎092-715-5040	春日・大野城子ども劇場	☎092-572-0544		
	福岡市子ども劇場連絡会	☎092-791-7210	太宰府子ども劇場	☎092-924-7603		
						10月舞台鑑賞会は福岡県内の子ども劇場で鑑賞します。各子ども劇場の基本会場を設けています。都合がつかない場合は席に余裕があれば他の会場にも参加できますので、事務局へお問い合わせください。